

瓦屋根耐風診断 一次調査票

対象	項目	記入欄			
一次 診断者	所属名			診断社名	
	所在地				
	連絡先				
建築物の 概要等	所在地				
	施行時期	築年数	施行時期		☐ 不明
	増築有無	☐ 無 ☐ 有	増築年数	概要	
	階数	☐ 平屋	☐ 2 階建て	☐ 3 階建て	☐ その他（ ）
	屋根勾配	☐ 6 寸以下		☐ 急勾配	
	屋根形状	☐ 寄棟 ☐ 切妻 ☐ 入母屋 ☐ 片流れ ☐ その他 （ ）			
	屋根材	☐ 粘土瓦 ☐ PC 瓦 ☐ J 型 ☐ F 型 ☐ S 型 ☐ 不明 ☐ 瓦以外			
	屋根改修	☐ 無 ☐ 有	実施時期	概要	
	屋根不具合	☐ 無 ☐ 有 ☐ 雨漏り（ ） ☐ しっくいのはがれ（ ） ☐ その他（ ）			
屋根診断 （地上か らの目視 等）	全体調査	☐ 屋根に被害がある。 ☐ 屋根に変形・歪みがある。 ☐ 瓦が飛散している。 ☐ 瓦が崩れている。 ☐ 瓦が破損している。 ☐ 瓦にずれや浮き上がりがある。 ☐ 接着剤の流出痕がある。 ☐ その他の破損 （ ）			
	適合診断	☐ 上記の「全体調査」に該当する項目がある。			
		☐ 2001 年より以前に着工された瓦屋根の建築物であり、 屋根が改修されていない。			
		☐ 瓦屋根が土葺き工法だと思われる。 ☐ 瓦屋根の工法が不明			
		☐ 瓦が非防災タイプである。 ☐ 瓦屋根の種類が不明			
		☐ 瓦の緊結方法が以下の方法となっている。 軒・・・軒瓦に緊結材が見えない。 けらば・袖瓦に緊結材が見えない。 むね・・・緊結線が見える。 平部・・・平部がずれている。			
診断結果	☐ 地震又は強風により脱落、飛散する恐れが低い。 （上記「適合診断」に該当する項目がない。）				
	☐ 耐震性・耐風性を確認するには二次診断が必要 （上記「適合診断」に該当する項目が1つ以上ある。）				

所見	
----	--

※可能であれば、不具合部分の図面又は写真を添付する。